

# NPO団体と連携した女性相談事業【小千谷市】

個別事業費	504 千円
交付金額	378 千円

## 地域の実情と課題

配偶者等からの暴力は家庭内の問題と捉えられやすく、被害が表面化しにくい。また、「相談するほどではない」「我慢すればよい」といった意識や経済的不安により相談につながりにくい状況がある。このため、経済的困窮に直面する女性への支援強化と、関係機関と連携した包括的な自立支援体制の充実が求められている。

## 事業の特徴

### NPO団体と連携し、相談体制を整備

- 相談窓口の拡充  
女性相談の経験豊富なNPO団体との連携を図り、市相談窓口のほか、相談者が相談しやすいように電話や面談、カウンセリングでの相談窓口を拡充。
- 女性の困りごと相談会を実施  
どこに相談していいかわからない困難な問題を抱える女性に対し、支援に繋げるきっかけの場を提供。

## 目的・目標

困難や不安を抱える女性に対する支援を強化し、経済的・精神的に自立できるよう、相談・支援事業を実施することで女性の生活の質の向上を図る。

【目標】 相談窓口の利用者数 15人以上※前年比30%以上増

## 連携団体

委託事業者：NPO法人 女のスペース・ながおか

## 事業の効果

従来市の相談窓口に加え、NPO団体による電話相談及び面接相談を実施するとともに、相談者の希望に応じた同行支援なども行い、相談者の状況に応じた柔軟な対応が可能となった。また、NPO団体との委託連携により相談対応人員が増加し、相談受入体制の強化が図られた。

	目標・KPI	目標	実績
事業目標	相談窓口の利用者数	15人以上 ※前年比30%以上増 (アウトプット)	31人 (令和8年2月時点)

- ★相談延べ件数：前年度31件⇒118件（令和8年2月末現在）  
→うち、DV相談以外の相談件数 65件
- ★相談内容の広がりが見られ、NPO団体との連携により継続的な支援につながったケースも確認された。
- ★「女性の困りごと相談会」を年間12回開催したところ、20代から80代まで幅広い年代の参加があり、支援につながるきっかけの場を提供できた。



## 今後の課題

継続的かつ専門的な支援を要するケースも増加しており、相談機会の継続的な確保と支援体制のさらなる強化が課題となっている。市の相談体制強化を図るとともに、行政とNPO団体との情報共有やケース検討等の連携をより一層強化し、複雑・多様化する相談に対して適切な支援につなげる体制の充実を図る必要がある。今後は、今年度構築した相談支援の枠組みを基盤として、相談者の状況に応じた切れ目のない支援体制の構築と支援の質の向上を図っていく。

## NPO法人 女のスペース・ながおかと連携し、相談窓口を拡充

市の相談窓口のほか、女性相談の経験豊富な女のスペース・ながおかと連携を図り、相談者が相談しやすいように電話や面談、カウンセリングでの相談窓口を拡充。相談者の希望に応じた同行支援なども行い、相談者の状況に応じた柔軟な対応が可能となった。

- ★相談延べ件数：前年度31件⇒118件（令和8年2月末現在）  
→うち、DV相談以外の相談件数 65件

## 女性の困りごと相談会

どこに相談していいかわからない困難な問題を抱える女性に対し、支援に繋げるきっかけの場を提供。

- 開催日時：毎月第2金曜日  
①13：30～ ②14：30～（要予約）
- 会場：小千谷市役所
- ★実績

各回2枠の相談枠を設けて実施したところ、延べ14人の参加があった。相談会には20代から80代まで幅広い年代の参加があり、困難な問題を抱える女性が孤立することなく、支援につながるきっかけの場を提供できた。

女性の困りごと相談会  
一人で悩んでいませんか？

配偶者や恋人から暴力を受けている、家庭に居場所がない、性的に嫌な経験をした……。誰にも言えずに悩んでいること、まずは話してみませんか。専門の女性相談員がお話を伺います。

相談無料 事前予約

毎月第2金曜日		①午後1時30分～		②午後2時30分～	
相談会場：小千谷市役所					
4/11	5/9	6/13	7/11	8/8	9/12
10/10	11/14	12/12	1/9	2/13	3/13

予約・お問合せ 【受付時間】平日 午前8時30分～午後5時15分  
小千谷市役所 市民生活課市民係 詳細はこちら！  
☎0258-83-3509  
【委託先】NPO法人 女のスペース・ながおか